

子育てどまんなか！ 座談会

調査をしているときも、そして結果をまとめているときも「ニーズ調べの必要性」を各方面から指摘されていました。そこで現在の生の声を聞きたいと座談会を企画し、2008年3月1日（土）に橿原市のEさん宅で開きました。快く呼びかけに応じていただいたお母さんたちからは本音トークが続出し、座談会は大いに盛り上がりました。「イマドキの子育てママの本音って、どうなん？」

参加した人（4名）

Hさん：桜井市・40代・子ども1人（5歳女）

Mさん：香芝市・40代・子ども4人（中2男・中1男・小5女・小4男）

Nさん：橿原市・40代・子ども2人（中2男・小2女）

Oさん：田原本町・30代・子ども2人（5歳男・2歳女）

スタッフ（以下S・4名）

司会：奈良市・50代・子ども3人

ST：生駒市・50代・子ども3人

SU：生駒市・50代・子ども3人

SE：橿原市・40代・子ども2人



誰に子どもを預けてる？

SEさん：私は、夫の母親には預けにくいです。

司会：そうおっしゃる方が多いですね。姑の立場の私は、寂しいと感じます。

Nさん：私は、夫の実家に預けられます。十津川出身の両親だからか家族の絆が強くて温かいので、仲良くできています。ただ家族の中に入って来られ過ぎるのは、少し困るという気持ちもあります。

Oさん：お義母さんから、「みたらうか？」って言ってもらったら一番嬉しいし、気が楽です。

美容院に行く時に義母に預けるんですが、2・3時間経ったらお義母さんが困っているのではないかと気になるので、最近は“託児付き美容院”を利用しているんです。ちょっとだけ値段が高いけど、資格のある保育士さんが担当してくれるので安心なんです。

育児している時期って、お茶したい！子どもから目を離して1人でポオーっとしたい！って思うんですよ。託児付き美容院はそんな時間を作れるんです。

STさん：私は預かる側だけど、それほど負担には思わないけどね。

SEさん：発熱したからといって保育園にすぐに引き取りに行けない。本当に必要なのは、その日は病児保育に送ってもらってそこでみて貰えて、その間に仕事の都合などを付けて、次の日から休んでみることができる即対応の病児保育よね。

STさん：民間の会社で、少し料金は高額ですが、保育園から病気で迎えに来いと言われたら、担当者がすぐにお迎えに行き親の代わりに自宅でみてくれるというサービス提供があるのよ。

Oさん：それが最も助かる方法ですね。

Hさん：仕事を続けていて、それを利用できたら頼んだなあと思う。高額でも自分の給与の1日分の8割払っても仕事を休まずに働きたいと思うわ。

ファミリーサポートはどう？

Mさん：以前、香芝市の事業のファミリーサポートの講習会に行ったことがあります。

STさん：生駒市にもファミリーサポートがあって、預かる担当者（サポーター）の家で保育するシステムです。

預ける側預かる側双方の面接などで相性や条件などのマッチングもしているんです。

Hさん：料金はいくらくらいですか。

STさん：1時間 600円から 800円です。県下のファミリーサポートは1時間 700円平均でした。

Oさん：1時間 700円かあ、もっと安かったらジャンジャン利用したいな。

SEさん：どれくらいだったら利用するかな？

Oさん：そうですね、500円以下ならね。

Mさん：個人が300円、市や町が300円補助してくれるっていうのがいいな。

Oさん：市や町が負担してくれて、その割合が、市や町と個人が半々ならありがたいですね。

Hさん：本当にそうねえ。

司会：市や町がいくら補助しているか、その割合はどれくらいかを知らせることも大事よね。

Hさん：シルバー人材センターもそういう保育を提供していますよ。

Oさん：私の友だちは利用しています。大和郡山市のシルバー人材センターです。

司会：高齢の方で、力がある方たちは多いですからね。

奈良県の少子化を止めるには？

Oさん：お金ですね。現在の児童手当の1ヶ月1人5,000円は、何の足しになるの？という金額です。

Mさん：どうして小学校までの支給なの？って思います。義務教育の期間は欲しいです。中学生の方が教育費はかかるし、塾の費用は莫大です。

司会：教育費が高いですね。

STさん：お金がかかるので、子どもを多く産めないんですね。その他の理由はどうですか。

Hさん：子どもを預かる施設の充実ですね。

Oさん：2人目の産後がとても苦しかった。上の子をみてくれて、下の子のことも手伝ってくれる人が居るかどうかが3人目を産むかの判断材料になります。産後1週間でも援助してくれる人を派遣してほしい。市や町がその費用の半分でも負担してくれたら、3人目を産めると思います。

SUさん：2人目・3人目の産後は、自分の身体が戻る苦しみも大きいしね。

司会：産後の時期のサポート体制は乏しいですね。核家族の形態の問題でもあるわ。上の子どもをみてくれる存在の有無ですね。

Mさん：私は、2人目を“託児施設のある産婦人科”で産みました。県下に3カ所の系列の産婦人科があって、とても人気です。利用する側のニーズを分かってくれているので、4人産めました。地域の保育所を利

用するより、ずっと気が楽でした。

SEさん：妊婦さんが、困っていることをよく分かってサービスをしてくれる病院ですね。

Hさん：妊娠中の金銭的な補助が欲しいですね。

それに産まれてからの小児科対応できる救急病院が少ないことはとても不安です。

Nさん：妊娠中や産後に夫が休めて、早めの帰宅ができる会社の制度が欲しいです。

SEさん：一番気を遣わずに上の子のことや他のことも頼めるのは夫ですものね。うちの夫は13年前に産後の短期休暇を取ったんですが、他の人は取っていなかったって言っていました。

Nさん：男性が育児休暇を取ることが、普通で当然になってほしいです。知り合いの男性が以前育児休暇を取ったら、「仕事に意欲が無い男」っていう誤った評価を受けたらしいんです。

STさん：逆に、育児休暇を取った人をたたえる方向にすればいいですね。

Oさん：出産祝い金と育児休暇を一緒にくれたらいいな。でも強いて言うなら、お金より夫の育児休暇の方が欲しいですよ。本当に何でも頼みやすいのは夫ですね。自分たち2人の子どもですしね。

Mさん：誰かに来てもらうより、夫やわ。

SEさん：「子どもが生まれたら1週間は絶対休んで、手伝うって制度が会社にあるんだよ。」って言うてくれたら本当に楽ですねえ。それと子育てを終えた女性で、時間があるけど仕事がないという人が、そういう場で力を発揮できればいいですよ。奈良県は、働きたくても仕事がないという女性も多いのだから。

Hさん：そんな人たちの能力や時間を活用して子育てに困っている人に派遣する事業を県や市町村がお金を出してやってくれたらいいのにな。

SEさん：県や市町村の事業なら信用もできるし、若いお母さんたちは助かるわよね。

最近、ひとりっ子が多いのはなんで？

Hさん：先ず1人目の育児が大変だったので、もうやめとこうと思う場合です。そして1人の子どもに充分なお金を掛けて精一杯のことをさせてやりたいという理由でひとりっ子を選ぶ人もいます。それと深刻なのは、2人目不妊ですね。

SEさん：不妊治療は高額ですしね。

Hさん：保険適用がないし、補助金なども奈良県は無いので、金銭的にかなり大変です。

SEさん：2人目不妊には、子育て環境も関わっていますね。1人目の育児で周りに迷惑を掛けたくなくて、3歳～4歳になるのを待って2人目を妊娠しようとするので、妊娠しにくくなってしまうのでしょうか。

Oさん：年子や短い間隔で次の子どもを産むのが環境的に無理だからです。

Mさん：身近にも3歳あきの子もって多いですよね。

Oさん：あかちゃんの時期から、預かってくれる保育所や、育児をサポートしてくれる市や町の支援があれば、次の子どもをすぐに産もうと思えるのだと思います。

SEさん：妊娠・出産・育児に無理がなくて、気持ちも身体も楽だと思えることができれば、ためらわずに産めるんですよ。

司会：みなさん、貴重なご意見をありがとうございました。『奈良県39市町村の子育て支援状況調査』のデータからだけではわからなかった、子育てどまん中のお母さんたちの意見をたっぷり聞けました。これからの「参画ネットなら」の子育て支援活動に有効に活かしていきます。

(大谷榮子)